

第74号

編集発行 三重短期大学同窓会
会長 中村 隆義
〒514-0112 津市 中野157
三重短期大学事務局内
TEL 059-231-7770
印刷所 株式会社 伊勢出版
TEL 059-265-6888



三重短期大学 学歌
(一)三津の都 安濃津はさやかに
みはるかす山をひかえて
悠遠の文化を競う
いざわれら 千載の学統たかく
ともに築かん はえある大学
理想の学園を

お別れに際して
学長 村井 美代子
卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。ご家族や関係者の皆様も、卒業生の皆さんが無事にこの日を迎えられる、感慨ひとしおのことと存じます。心よりお祝いを申し上げます。
二年間、約七百日という期間を、短かったと感じるか、長かったと感じるか、それぞれ異なると思いますが、本学で多くのことを学び、考え、経験されたことと思います。また、友人や教員との出会いを通して、入学さ



れから卒業を迎えられるこの日までに大きく成長されたことと思います。
本学は、今年度開学から七十年を迎えました。昨年十月二十九日の三重短期大学創立七十年記念式典開催にあたっては、三重短期大学同窓会の皆様に大きなご支援を賜りました。学生の皆さんにも様々お手伝いをいただきまして、改めて深く感謝申し上げます。
この七十年間で本学のみならず、広く高等教育機関をとりにまわって大きく変化してきました。が、教員が、教育、研究、地域貢献に真摯に取り組む、学生の皆さんひとりひとりに充実した学修環境を提供し、限られた期間ではあるものの、知的資質、人間的資

祝辞
同窓会会長 中村 隆義
ご卒業おめでとうございます。三重短期大学同窓会を代表して皆様のご卒業を心より御祝い申し上げます。また、新型コロナウイルス感染症拡大という、かつてない試練を乗り越え勉学に励み「学位」を手にされたそのご努力に敬意を表します。
私は入学される方々に「二年間限定の日記を書いてみてはいかがですか」と言っています。皆様の日記には「新型コロナウイルス」感染拡大下の日常生活、勉学対応あれこれ、がぎっしり記録されているのではないのでしょうか。
入学時に描いた学園生活、勉学、自己の可能性への気づきなど、目標目的に向け夢を

膨らませたことと思いますが「予期せぬ学生生活」を強いられるという、かつてない環境の変化に戸惑う日々が続いたことと思います。しかし、あなたたちは、これを乗り切り、その努力の証し「学位記」を手にしました。感激もひとしおだと思います。
それに皆さまには忘れる事の出来ない出来事がありました。それは、母校三重短期大学の「開学七十周年」記念に立ち会えたことだと思えます。数々の記念事業に参画し、三重短期大学がその歴史と共に全国に誇れる素晴らしい短大であることを実感したのであります。
「君は、人生の、大きな大

れてから卒業を迎えられるこの日までに大きく成長されたことと思います。
本学は、今年度開学から七十年を迎えました。昨年十月二十九日の三重短期大学創立七十年記念式典開催にあたっては、三重短期大学同窓会の皆様に大きなご支援を賜りました。学生の皆さんにも様々お手伝いをいただきまして、改めて深く感謝申し上げます。
この七十年間で本学のみならず、広く高等教育機関をとりにまわって大きく変化してきました。が、教員が、教育、研究、地域貢献に真摯に取り組む、学生の皆さんひとりひとりに充実した学修環境を提供し、限られた期間ではあるものの、知的資質、人間的資

質を備えた人物へと成長される日々を下支えし、社会に送り出すという高等教育機関の使命の根幹は、社会情勢がどのように変化しようとも、決して揺るがないものと確信しています。
これまで七十年の長きにわたって、先輩の同窓生の皆様が築かれてきた歴史や伝統を尊重しながら、そのご恩に報いるべく、現状を認識し、十年後、二十年後の本学の姿を思い、より良い在り方を検討し、改革を進める勇気と柔軟性を失ってはならないと考えています。
卒業生の皆さんにも、これから、二万名を超える同窓生の一人として、三重短期大学の今後の一層の発展のために、ぜひ力をお貸しいただき



よう心して、こういった改革の動きを他人事のように思わずしっかり受け止めて下さい。新しいことに挑戦して下さい。社会はそれを待っています。期待しています。大学で学んだ事の応用編を職場で家庭で、地域社会で試し、取り組んで下さい。それが自分自身を生かした素晴らしい人生になると思います。
最後になりましたが、同窓会は卒業生の親睦を深める活動に対する支援助成が目的でもありますが、学生自治会や学生個人の活動に対して、金銭的支援も行っています。また、「会報」も定期的に発行、大学のホームページにも同窓会欄を設けて

たいと切に願っています。
本日をもって皆さんは、「三重短期大学生」ではなく、社会に送り出される道はそれぞれ異なりますが、本学での学びを糧に、明日から始まる新しい一日、新しい道を、自信と希望をもって迎え、歩んでください。
三重短期大学はいつまでも皆さんの母校です。これから元気に活躍されている姿を見せに、あるいは悩みを打ち明けに、どうか遠慮されることなく本学をお訪ねください。私たちはいつでもお待ちしております。
卒業生の皆さんの今後の一層のご活躍とご健勝を心からお祈りし、送別の辞といたします。
津市にお住まいの水飼健治さまから学生のために使ったと三重短期大学事務局を通じて百萬円の寄付が三重短期大学同窓会にありました。同窓会では、ご本人にお会いして寄付行為の趣旨をお伺いしました。
その時のお話では「学業が優秀な学生にお役に立てば嬉しいのです」と。大きな理由はお父様が三重短大で教鞭をとっており、遺言ではないが、学生のためになれば父も喜ぶのではないかと思っただけ、ということでした。
同窓会では水飼様の思い「優秀な学生」をどうして選ぶかでした。「大学の学生部で推薦してもらおう」「学生自治会はどうだろうか」などの意見も出て、お願いはしたものの、それぞれ理由が有ってなかなか実現にいたっておりません。
そういった事もあって水飼さまにその旨をお伝えしたところ、同窓会の活動を含め学生の勉学にプラスになるためにお使い下さい、お任せしますとのことでした。
同窓会としては、コロナ禍ということもあって活動も思うように行動ができず残念に思っているところですが、新年度事業の中で具体的な対応をしたいと思っております。令和四年十月に開催された三重短期大学創立七十年記念式典の特別記念講演「公立短期大学をめぐる諸情勢について」と

同窓会として、コロナ禍ということもあって活動も思うように行動ができず残念に思っているところですが、新年度事業の中で具体的な対応をしたいと思っております。令和四年十月に開催された三重短期大学創立七十年記念式典の特別記念講演「公立短期大学をめぐる諸情勢について」と

寄付金について
津市にお住まいの水飼健治さまから学生のために使ったと三重短期大学事務局を通じて百萬円の寄付が三重短期大学同窓会にありました。同窓会では、ご本人にお会いして寄付行為の趣旨をお伺いしました。
その時のお話では「学業が優秀な学生にお役に立てば嬉しいのです」と。大きな理由はお父様が三重短大で教鞭をとっており、遺言ではないが、学生のためになれば父も喜ぶのではないかと思っただけ、ということでした。
同窓会では水飼様の思い「優秀な学生」をどうして選ぶかでした。「大学の学生部で推薦してもらおう」「学生自治会はどうだろうか」などの意見も出て、お願いはしたものの、それぞれ理由が有ってなかなか実現にいたっておりません。
そういった事もあって水飼さまにその旨をお伝えしたところ、同窓会の活動を含め学生の勉学にプラスになるためにお使い下さい、お任せしますとのことでした。
同窓会としては、コロナ禍ということもあって活動も思うように行動ができず残念に思っているところですが、新年度事業の中で具体的な対応をしたいと思っております。令和四年十月に開催された三重短期大学創立七十年記念式典の特別記念講演「公立短期大学をめぐる諸情勢について」と

感謝状
三重県津市
水飼 健治殿
貴方は祖父水飼孝之助氏(元三重短期大学教授)のご意志を継がれ、在学生の支援活動を実践する三重短期大学同窓会に対し、その学生支援活動費用の一部として一百万円をご寄付されました。そのご厚意に対し深く感謝の意を表します。
令和三年三月二十日
三重短期大学同窓会会長 中村 隆義



同窓会会長 中村 隆義
題する文部科学省高等教育局古田和之課長のお話にもありましたが公立短期大学の先行きは大変厳しい状態に直面していると言っても過言ではありません。
そこで、同窓会では、寄付金百萬円の使い方の一つとして、同窓会会員、現役学生を対象に仮称「三重短期大学に期待する」と題する提言を募集し、優秀作品に賞金を贈る案を計画しております。具体的な事柄については検討を重ね、同窓会報、ホームページに掲載します。宜しくお願致します。
なお、寄付金を頂いた水飼健治さまにはお礼の感謝状を贈らせて頂きました

三重短期大学赴任当時の ささやかな思い出

同窓会顧問 東福寺 一郎

三重短大が創立七十周年を迎えた。人間でいうと古希を迎えたことになり、誠にめでたい。古希は、唐の詩人である杜甫が詠んだ「人生七十古来稀なり」に由来しているのだが、これまでに誕生した九十四の公立短期大学で七十周年を迎えることができた大学は七校のみであり、やはり稀なのである。そして、筆者は三重短大の歴史の約半分とともに過ごしたことになる。その膨大な記憶の中から、本稿では、赴任当初に経験したささやかな思い出をいくつか

披瀝したいと考える。

採用前のことであるが、面接を受けるために初めて短大を訪れた際に、職員の方々が緑色の上着を制服として着用していることが印象的であった。採用が決まったときには、自分もあの制服を着ることになるのかなという思いが頭をよぎった。嫌とまでは言わないものの、大学の教員らしくないなというのが率直な感想である。これについては、辞令交付前に、当時の文学担当の内村留美子先生と話す機会があった際、この懸念

三重短期大学 創立70周年記念式典を終えて

同窓会副会長 千種 拓哉

皆さん、こんにちは。私は、法二四十三期卒業生の千種拓哉です。

この度、実行委員会の一人として、また卒業生の一人として記念式典開催に携わることができましたのでご報告をさせていただきます。

少し振り返りになります。が、昨年の令和四年で、津市立三重短期大学は、創立（開



を尋ねたところ、先生から一笑に付され、内心安堵した。ちなみに、職員の制服の色は、その後、緑色から灰色へと変わり、やがて制服そのものが廃止されている。

私の主担当科目は、教職課程の「教育心理」であるが、採用決定が二月後半という時期であったため、副担当科目についてはすでに非常勤講師への依頼が済んでいた。そこで、持ちコマ数調整のため、自由選択科目の「英語B」を一年間担当することになった。何を教材にするか悩んだ私は、自分の専門である心理学の比較的読みやすそうな原書を選んだ。卒業単位にならない科目をどのくらいの学生が履修するのか不安であったが、数名の学生が履修申告を

してくれた。彼女たちの多くは下宿生であったことも手伝い、互いに仲がよく、授業時間以外に揃って私の研究室を訪れることもあった。そのうち、心理学に関する読書会をしようということになり、それは彼女たちが卒業するまで続いた。さらに、その多くはいまだに年賀状で消息を伝えあっている。

また、私が学生時代に硬式テニスの同好会に所属していたこと、および前任者の瀬島順一郎先生がテニス部の顧問であったことから、その役割を引き継ぐことになり、時間の許す限り、部員とともにコートで汗を流したり、夏休みには合宿にも参加したりした。テニス部の学生には、私の方が教えられることも多

昭和四十三年に現在の一身田中野に校舎を設け現在に至ります。

ところで、私は現在、先輩方のご紹介もあり、同窓会役員に就かせて頂いている関係からもあり、今回、創立七十周年記念式典の実行委員会に参加させて頂きました。

貴重な経験をさせて頂きましたので、少し報告をさせて頂きます。

その前に、少し、私の学生時代をお話しさせて頂きます。私が入学した平成八年は、すでに超氷河期時代で、進学も就職も厳しくなっていました。私は、四日市市内の工業高校で学んでおり、卒業後は就職を考えておりました私の努力不足もあり、あまり成績も振るわず、また理系の勉強よりは文系の勉強をした



かった。例えば、赴任した年に完成した合宿所で夏休みに合宿をしたのだが、その期間中に台風による大雨が降ってきた。迂闊にも、私は新車の軽自動車の窓を開放してしまっていた。車の中に水たまりができてしまった。途方に暮れていた私に、部員のMさんがフロアマット下に水抜きがあることを教えてくれ、実際に水を抜いてくれた。また、その年の秋の大学祭でお好み焼きの模擬店を出すことになり、食材としての山芋をSさんの地元へ数名の部員たちとともに掘りに行ったことがあった。私にとって初めての山芋掘り体験であり、コッスを教えてもらいながらチャレンジしたことは大切な思い出である。

次は、学生自治会の活動に先輩に誘って頂き、また二年生からは、二部自治会長としてさまざまな、計画や、問題にも取り組むことができ、忍耐の経験を積むことができました。今でも当時の仲間とは、付き合いが継続しており、一生の友人となりました。

それでは、本題に戻します。今回の記念式典では、コロナ禍であり、開催も難しいので、今回状況での計画となりました。今回の式典に向けて、学校事務局様および教員様と打ち合わせを行い、複数の計画が立てられました。一つは記念誌の発行です。

寄稿文を元職員や、卒業生から募り、百五十ページ程の冊子が完成しました。

二つ目は、記念式典と懇親会の計画です。記念式典では、記念講演として文部科学省高等教育局大学教育・入試課長の古田和之様に講演をして頂きました。

初めての試み

十二月に大学祭を開催

今年度の大学祭では、初めての試みとして十二月に開催し、体育館や校舎棟、大学ホール全てを活用し新型コロナウイルス感染症対策を徹底して開催しました。三重短期大学七十周年記念の大学祭ということもあり、この日のために学祭実行委員会を筆頭に出店関係者と協力して準備を進めてきました。当日は、三重県で初雪が観測され強風の中での開催となりましたが、朝早くからたくさん在校生や招待客が来校され、一日を通して約三百五十名の方々が足を運んで下さいました。また、キッチンカーには行列ができるほど好評で非常に達成感のある新しい試みでした。



また、今年度の大学祭では同窓会様のご厚意によりコンベクターヒーターという暖房器具をご支援いただきました。体育館は非常に寒かったものの、この暖房器具で暖をとっている方々も終始見受けられ非常に役に立ちました。この暖房器具は今後貸出備品として利用され、来年度の大学祭でも大いに役立つことを期待しています。今年度の大学祭に参加して頂いた方々、改めてありがとうございます！

懇親会は、本来ならば、飲食を伴う形式で開催が良かったのですが、コロナ禍でありペットボトルのお茶での開催となりました。ただ、皆さんの校内見学ツアーもあり、また久しぶりの再会で話が盛り上がり、楽しいひと時を過ごすことができました。

三つ目、同窓会として計画したことです。記念品として学校の近所にありますおぼろタオル株式会社様のタオルの配布です。

当初は、他の製品を含めて検討しましたが、せっかく配布するのであれば皆さんに喜んで頂けるもの、保存できるもの、地元での製品であることを考慮し、百年の極と言



われる品質の良いタオルを来賓、現役学生さんにも配布できました。

前回の六十周年の時は台風で中止になったと聞きましたので、今回は開催できて良かったです。次の八十周年の時も、もし携わることができたら嬉しいです。

3年ぶりとなる サマーフェスティバルを開催

七月三日(日)三年ぶりとなるサマーフェスティバル(以下、サマフェス)を開催しました。新型コロナウイルスの影響によってブランクが生じ準備等で苦難を強いられる場面もあり、開催の有無を本気で話し合った時期もありました。しかし、一、二年生の学祭実行委員会を中心に各出店団体も四月の段階から目標を定め準備を行いました。当日は午後からの激しい降雨で来場者数を懸念していましたが、午前中から沢山の方々が来場して下さったこともあり軽音楽部やダンス部、有志発表などの舞台発表に沢山の方々が足を運んでくださいました。また、アイスやジュース販売、各ゼミやサークルも出店して下さり、三重短生一丸となってサマフェスを盛り上げることに成功しました。コロナ禍以前のサマフェスの活気を少しずつ取り戻せた実感があり、在校生(現一年生)にバトンを託すことの出来た最高のサマフェスでした。



イラストサークル

私たちイラストサークルは、現在、二年生四人、一年生三人の計七人で活動しています。普段はミーティングルームB室をお借りし、月曜日(金曜日)十一時~十九時の時間帯に集まり一人ひとりが好きなように絵をかいたり雑談をしたりして自由に過ごしています。講義の空きコマの暇つぶしに来る人がほとんど

バドミントン部

私たちバドミントン部は、週二回、三重短大の体育館で活動しています。三重短生だけでなく、三重大生も参加しているため、学外の方とも交流を深めることができます。活動日数は各月ごとにアンケートをとり、多くの部員が参加できるよう工夫しています。活動時間については、昼間と夜間のどちらの部員にも配慮し、活動時間を長くする



のため、元々部員が少ないこともあり全員が集まれる日はほとんどありません。しかし、数人で好きなアニメやマンガなどを語りながら絵を描く時間は本当に楽しいのもっと部員が増えてほしいと思っています。そのため、新入生が入学してくる四月五月は勧誘活動を中心に行っています。見学に来てくれた方々に

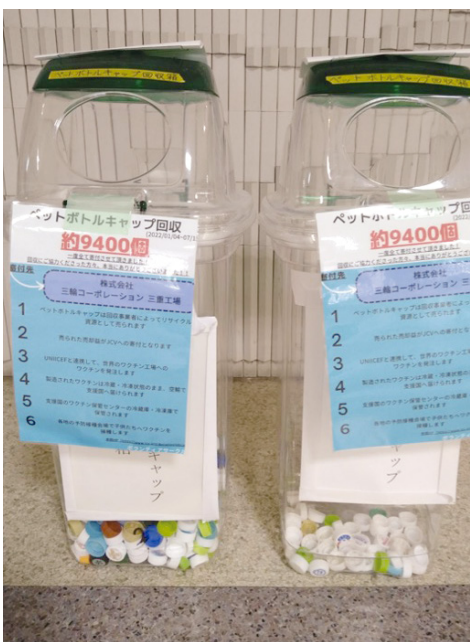
イラストサークルの魅力が伝わるよう過去に先輩方達が描いたイラストなどを見せて興味を持ってもらい、それから普段の活動の説明と毎年参加している学園祭での活動の説明を部員達と内容が理解しやすいよう話す順序を話し合っ

去年が初参加の学園祭では部員全員のイラストを載せている部誌やポストカードを作り、出展しました。今年も学園祭が開催予定であれば参加する予定でいるので、夏休みの長期休暇を利用して、部員全員で部誌を製作中です。学園祭や普段の活動の風景は三重短期大学のイラストサークルのTwitterアカウントにアップしています。是非ご覧ください。ただけると嬉しいです。

ボランティアサークル

私達ボランティアサークルは「歴代の先輩方を越えるボランティア活動を行う」ことを目標に活動しています。身近に出来るボランティア活動として、ペットボトルキャップやベルマークの回収を行っています。ペットボトルキャップに関しては約半年間で約九千四百個回収することに成功し、世界の子供へのワクチン供給に繋がることが出来ました。また、今年度の新しい取り組みとして、創価大学や皇學館大学との交流会を行ったり、手話を学んだり児童館で小学生との交流をするといった、将来を見据えた「経

験」というものを大切にしています。ボランティアサークルならではの活動を積極的に行うことで、価値観の創造や多角的なものの味方が出来るよう意識しています。今後のボランティアサークルは、津市を拠点に近隣地域のボランティア活動にも参加することに力を入れたいと思います。新型コロナウイルスで失った地域の活気を取り戻していきたいと思えます。新型コロナウイルスも収束傾向にある中、三重短期大学ボランティアサークルが地域づくりのリーダー的存在になることが出来るよう、日々精進してまいります。



園芸サークル

園芸サークルは二〇二二年五月にできたサークルです。立ち上げた当初は、食物栄養学科の女子五人でした。しかし、現在では食物栄養学科だけでなく他学科の学生や多くの新一年生も入部し、とてもにぎわっています。去年は立ち上げてすぐに安納芋、シルクスイート、紅あずまなどたくさん種類のさつまいもの苗を約三十本と、きゅうり、なすび、トマト、ピーマンなどの野菜の苗を植えました。



十月になり少しコロナウイルスが収束している時、五月に植えたさつまいもができたので、みんなで芋ほりをしました。また、愛知県の郷土料理であるさつまいもを使っ



フットサルサークル



今年度の前期は水曜日と金曜日の午後に活動し、夏期休暇も週一で活動していました。

活動内容は、主に試合が中心で、活動場所は三重短期大学の体育館です。

またコロナウイルス感染症対策として、体育館を常時換気したり、常に対策をしながら活動しています。



軽音楽部

わたしたち軽音楽部は、二年生合わせて三十六名で活動しています。年間の活動内容は一年生が全員出演必須の軽音楽部内で行われるデビューコンサート、サマーフェスティバル、学園祭、卒業パーティーなどの行事への参加です。

時々によって組むメンバーが変わるので、性別や学年関係なくいろいろな人と関係を築くことができる良い機会になります。

私たちが写真部は、写真サークル「彩撮(いろどり)」という名前で活動をしていました。

写真サークル

写真として印刷された写真には、画面で見るとは違った魅力があります。

子ども食堂サークル

九月十日土曜日に三重県津市のみどり自由学園さんが開催した、けいわっこ子ども食堂に参加しました。

初めてこのボランティアに参加する人や、もう何年も活動している人など経験や年齢も様々でしたが、普段では決して関われないような人と関わる事が出来、とてもいい経験になりました。

私は子ども食堂のボランティア自体初めての参加だったのでとても緊張していましたが、施設の人や同じボランティア仲間みなさんに優しく接して頂きとても活動しやすい環境でした。私のように



「中には家で食事をすることができない子どもたちもいる」という言葉です。私たちが作った食事は、食卓を食べることは当たり前だと思ってしまうが、中にはそれが難しい子どもたちがいることをいつも以上に身近に感じ活動に対する意欲がより湧きました。

この部活動の内容は、最初に二人組でパスをしたりしてアップをしていきます。体が動ける状態になったら次にスパイクを打つ練習とサーブを打つ練習をします。

この部活の魅力の一つは、練習を通して、仲良くなれることです。



バレーボール部

私たちがバレーボール部の活動について紹介していきます。

この部活の活動目標はバレーボールを通して、運動不足の解消や学年・学部・性別関係なしに交流を深めていく事を目的に活動しています。

最後に、バレーボール部に入りたくて考えている人は、一度部活体験にきてみてください。

